

東アジア日本研究者協議会 第7回 国際学術大会

2023年11月03日(金、午後2時)～2023年11月05日(日、午後)
東京外国語大学にて

本協議会は、東アジアを中心とした国々の研究者に、多様な分野において蓄積されてきた日本研究に関する成果を発表・議論する場を提供し、日本研究と日本研究者の国際的交流の発展に寄与することを目的としています。本協議会が誕生した背景には、東アジアにおける日本研究の蓄積に比べて研究者間の交流が少ないという事実があります。北米を中心とした AAS（アジア学会）、欧州を中心とした EAJIS（欧州日本学会）に対し、東アジア地域にはたくさんの日本研究者が活動しているにもかかわらず、個人あるいはグループ単位での交流は行われていますが、東アジアの日本研究者が一堂に会して交流しあう場は設けられませんでした。

そのため、5名の発起人により東アジアの日本研究機関を中心とする「東アジア日本研究者協議会」（以下協議会）を発足させ、議論を重ねてきました。その趣旨は、第一に、日本研究の質的な向上を目指すこと。第二に、地域の境界に閉ざされた日本研究から脱し、より多様な観点と立場からの日本研究を志向すること。第三に、東アジアの安定と平和に寄与すること。東アジアの日本研究者が一堂に集まり真剣に議論しあい、交流すること自体に意味があります。また、本協議会は、東アジア地域を網羅する学会の設立を目標としています。

上記の趣旨のもと、東アジアの日本研究機関が順次執行を担当することにより、年に1回の国際学術大会を開催することになっています。第7回となる今回の大会は、日本・東京の東京外国語大学において開催いたします。東アジアの日本研究者の皆様が東京に集まり、日本研究の新たな広がりや深化が実現されることを期待しています。

【特別講演1】

★ 11月3日(金) 14時 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
「〈日本語文学〉の異他なる経験」

講演：エレナ・ヤスリス（ベルリン自由大学）

Images detached from space and time

- Heterotopias and non-places in contemporary Japanese literature

鼎談：多和田葉子（作家）

李琴峰（作家）

邵丹（東京外国語大学）

司会：山口裕之（東京外国語大学）

【特別講演2】

★ 11月5日(日) 14時 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
「沖縄は東アジアの平和の「触媒」になり得るか」

基調報告：若林千代（沖縄大学）

討論：居原田遙（キュレーター／東京藝術大学大学院博士後期課程）

上原こずえ（東京外国語大学）

金間愛（明治学院大学国際平和研究所）

司会：友常勉（東京外国語大学）

★ パネル・個人研究報告（一般、次世代）は、研究講義棟にて行われます。

* 一般参加（参観のみ）の場合でも、参加登録が必要です（登録締め切り 10月9日）。詳細につきましては第7回国際学術大会のホームページの参照を願います。（大会 HP：<https://eacjs2023.jp/>）

主催：東京外国語大学（国際日本研究センター）

共催：独立行政法人国際交流基金

お問い合わせ先：第7回国際学術大会事務局 E-mail: info@eacjs2023.jp

